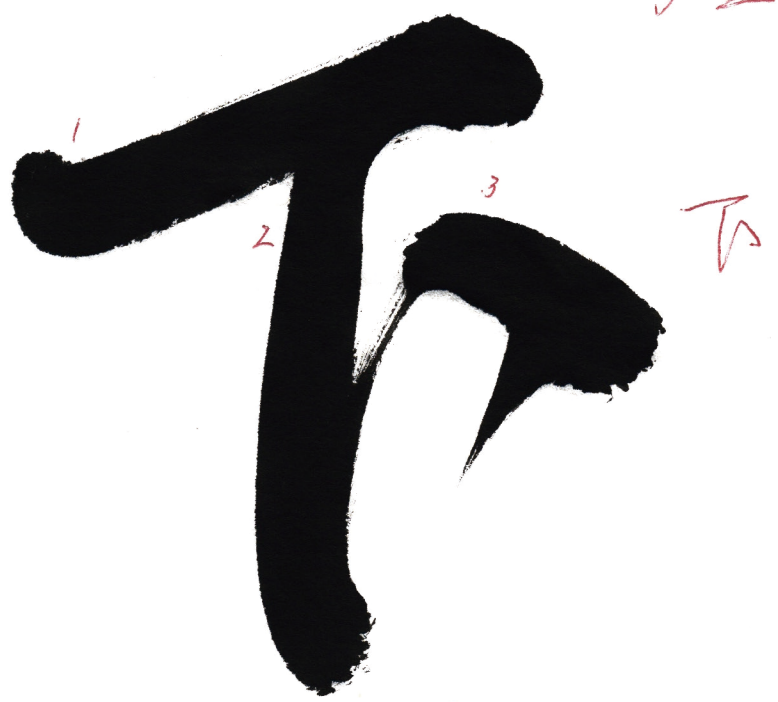




点は省略

徐々
左へ



下



草

提問



どうかそうちゅうな
燈下草虫鳴く

ともしびの下で 秋の虫が鳴いている。

(王維の詩より)

おうぎし
王羲之(東晋)を基本に
集字しています。
各行の中心を考えて、筆先の
バネを便して軽快に書きました。